

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

いっちょうぐるこぶん

一丁ぐる古墳

新高
見梁
市市

総社市

早倉 矢井 浅里 笠
島 敷掛 原口 庄岡
町市 町市 町市 町市



場所

総社市



時代

古墳時代前期(4世紀前半頃)



指定年月日

平成28(2016)年
2月5日



所有

南秦三部落自治会他



し せき

この史跡について

古墳時代前期前半(4世紀前半頃)に築かれた前方後方墳です。高梁川を眼下に望む、眺望のよい丘陵尾根の頂上に築かれており、周囲にも多くの古墳が見つかっています。

平成23年度から実施された確認調査によって、全長約70mであることがわかりました。大型の前方後方墳は岡山県北部で多く確認されていましたが、一丁ぐる古墳は岡山県内でも2番目に大きく、県南部では最大の前方後方墳となることがわかりました。

また、調査時には円筒や壺の形をした埴輪が出土しており、当時の古墳祭祀を考える上で貴重です。